

「大地震、いま起きてもおかしくない」

神戸で講演会 防災専門家ら訴え

近い将来起こるとされる南海トラフ巨大地震に備えようと、防災特別講演会、迫り来る巨大地震、あなたが知らないリアル」が神戸市中央区の同市産業振興セン



神戸市HP
過去の災害を紹介し「歴史は繰り返す。温故知新」と訴える福和伸夫名誉教授＝神戸市中央区東川崎町1

公益財団法人兵庫県まち

づくり技術センターが主催し、行政職員ら約250人が参加。福和名誉教授は、関東大震災（1923年）以降の100年間に日本周辺で起きた巨大地震を振り返りながら「巨大地震は10年に1回は来る。東日本大震災から既に12年。きょう起きても全くおかしくない時代にわれわれはいる」と訴えた。

「国民の半分以上が被災する」とされる南海トラフ巨大地震を前に、福和名誉教授は「本気になって意識を変えない限り、次の震災は乗り越えられない」と指摘。「あ

らゆる家庭でLife Continuity Plan（LCP）生活継続計画）を作ることが大事だ」と呼びかけた。

また、熊本県土木部河川港湾局の仲田裕一郎・河川課長が「熊本地震からの復旧・復興について」をテーマに話した。（中島摩子）